

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

快適で環境にやさしいまちづくり～おかざき都市環境の整備計画～

2 地域再生計画の作成主体の名称

岡崎市

3 地域再生計画の区域

岡崎市の全域

4 地域再生計画の目標

岡崎市は、愛知県のほぼ中央部に位置しており、東北部には緑豊かな三河山地と南西部に広がる岡崎平野の接点にあり、中央を流れる清らかな矢作川と乙川のもと古くから発達し、悠久の歴史と伝統に育まれながら素晴らしい都市景観を創り出している。

徳川家康公誕生の地として知られる岡崎市は、大正5年に市制を施行して以来、教育・文化などさまざまな分野で西三河の中心都市としての役割を果たしてきた。

本市は地球的な視点を持ち、自然環境との調和に配慮しながら、安らぎとゆとりを実感できる居住環境づくりを進め、快適な生活環境と美しい都市景観を備えた環境にやさしいまちづくりを目指している。

そのため、地球環境にやさしい生活様式への転換を促し、環境への負荷の少ない社会の実現を目指すとともに、丘陵地の緑や河川などの豊かな自然環境の保全・活用と都市緑化を進めている。

また、上・下水道など、快適な市民生活を支える生活環境の整備を進めるとともに、市民の理解と協力のもと、自然景観や歴史的景観などの地域の資源を生かした環境整備を目指している。

さらに、平成18年1月1日に額田郡額田町と合併することにより水道水源の5割を占める乙川の水源地を有することとなり、水源と水の消費が一つの自治体で完結することからますます水環境の保全に重点を置く必要がある。

しかし、現在の汚水処理人口普及率は77.3%にとどまり市街地周辺、特に乙川支流に位置する山綱川を含む東部地区の汚水処理施設の整備が遅れているのが実情である。

そこで、水環境の保全のために、より一層の汚水処理施設の整備を行い、快

適で環境にやさしいまちづくりの推進を図ることにより地域の再生を目指す。

【目標 1】 汚水処理施設の整備促進

(汚水処理人口普及率 77.3% 85.7%に向上)

【目標 2】 定住人口の増加

(総人口 355,359人 362,870人に増加)

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

本市は「人、水、緑が輝く、活気に満ちた、美しい都市岡崎」を将来都市像とし、さわやかな都市環境の実現をめざして汚水処理施設整備に積極的に取り組んできた。公共下水道は、市街化区域 5,740ha を含む 7,000ha を公共下水道全体計画区域として定め、そのうち乙川北部地区 440ha は単独公共下水道により整備を完了しており、他の地区はすべて愛知県が事業主体で行われる矢作川流域下水道の関連公共下水道として整備を進めている。市街化調整区域にある六ツ美地区は特定環境保全公共下水道により整備を完了しており、その他の地区は農業集落排水事業や合併処理浄化槽などにより汚水処理施設の整備を進めている。

そこで更なる整備の促進のため汚水処理施設交付金を活用し、中心市街地の東側の地域において公共下水道を、下水道認可区域及び農業集落排水事業区域を除く岡崎市全域に浄化槽を効率的に整備することにより、汚水処理人口普及率の向上により水環境を含めた環境にやさしいまちづくりの推進を図る。

5 - 2 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

・ 公共下水道・・・平成 14 年 3 月 5 日認可

[事業主体]

いずれも岡崎市

[施設の種類]

公共下水道、浄化槽（個人設置型）

[事業区域]

・ 公共下水道 岡崎市東部地域

- ・浄化槽（個人設置型） 岡崎市全域（ただし、公共下水道及び農業集落排水事業区域を除く。）

[事業期間]

- ・公共下水道 平成 17 年度～ 21 年度
- ・浄化槽（個人設置型） 平成 17 年度～ 21 年度

[整備量]

- ・公共下水道 100～500 L = 9,140 m
- ・浄化槽（個人設置型）
 - 5人槽 200基
（平成18年度～21年度 各50基）
 - 7人槽 240基
（平成18年度～21年度 各60基）
 - 10人槽 36基
（平成18年度～21年度 各9基）
 - 11～20人槽 4基
（平成18年度～21年度 各1基）

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

公共下水道 2,300人 浄化槽 1,488人

[事業費]

公共下水道

事業費 650,000千円（うち交付金325,000千円）
 単独事業費 250,000千円

浄化槽（個人設置型）

事業費 192,048千円（うち交付金 64,016千円）

合計

事業費 842,048千円（うち交付金389,016千円）
 単独事業費 250,000千円

5 - 3 その他の事業

- ・下水道散策路はやかわ整備事業

公共下水道早川1号雨水幹線に蓋をし、散策路や広場としての整備を行い、市民が親しめる憩いの場の実現を目指す。

- ・農業集落排水事業

農業振興地域における生活環境の改善と、農業用排水路や公共水域の水質保全のため、農村地域の汚水処理施設の整備に努め、農村生活の環境整備を目指す。

- ・「おかざき自然体験の森」体験プログラム

生物多様性の豊かな里山を様々な人々によって再生・維持しつつ、自然を活用した各種の体験を通じて、自然体験型環境教育の実践の場づくりを目指す。

- ・岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例

地域の特徴を生かしたまちづくりが行えるよう、住民の参画による自分たちのまちを守り、作り、そのまちを未来に継承していくために、その手続を定め、緑あふれる自然や美しい水のある生活環境、歴史的な施設やそれに伴う文化などの景観環境を保全を目指す。

- ・地球温暖化対策事業

地球温暖化対策として高効率給湯器、住宅用太陽光発電システムの設置及び低公害車の購入の一部を補助することにより促進を図り、地球温暖化防止に寄与することを目指す。

6 計画期間

平成17年度～21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

本市において前記4に示す数値目標に照らし計画終了後に状況を調査・評価し、公表する。また地域再生計画の進捗状況、関連事業の進捗状況等、各指標の検証及び今後の事業のあり方について検討を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し